

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市炭川町三丁目5番地7
 (炭川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878



飛天の誕生



世界の中の土地どの時代の民族の神話でも神々の住処の大方は大空にあり地方の人間たちには姿を見せる際神々は空を飛ぶはないうけにはいかなったのだらう。仏教飛天はインド天竺で去る二千年の昔誕生する。

インド文明に地中海地域の様な文明の要素を加え半島に受容された後、東洋的に完成された様式をとるに至り、南北朝隋唐あるいは王城の大寺院を荘厳した後飛鳥時代

茶良 法隆寺
 思わぬ太をおいで。カスラのキツネも切れた。子供達の人気もの。ドラエもんが飛天だ。いつでも好きでここへ飛んでいける。人間の望みも与えてくれる。ロー、あまはすはしー



に於て日本へ渡来する。仏教飛天の玉装飾。絵画、建築を飾り、重要な意匠として多くの作品に採られることとなる。

法隆寺には金堂壁画を始め、金堂天蓋、玉虫厨子、伝橘夫人厨子など草庵は飛天の姿がある。



法隆寺金堂壁画

飛鳥牧場に五月に行きた。下の雲と同じような型になぞり、心にはビク、心の中と読まれた。幸と呼ぶ雲が見える。矢田川



法隆寺金堂小壁
 矢田川の真上に三つある天女が踊る姿本当に雲か舞舞うた。

